

あいかわ 議会だより

第175号

令和4年11月15日発行

責任者 議会議長 渡辺 基
年4回発行・本号13ページ

箕輪耕地からみる

★秋晴れの空★

証明書の
コンビニ交付が
始まりました

- 「愛川町印鑑条例の一部改正」など2件の条例を可決……P.2・3
- 令和3年度各会計決算を認定……………P.9
- 国へ意見書を提出……………P.9
- 意見交換会に対する町からの回答……………P.17

〈第2回7月臨時会・第3回9月定例会〉

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP16をご覧ください



令和4年11月15日

2022 愛川町議会

令和4年第2回愛川町議会「7月臨時会」が7月14日に開催され、補正予算及び事件議案に関する2件の町長提出議案を審議し、両議案を可決しました。また、令和4年第3回愛川町議会「9月定例会」が、8月31日から9月22日まで、会期23日間（本会議開催6日間）にわたり開催され、令和3年度各会計の決算をはじめ、固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、条例及び補正予算など、17件の町長提出議案、1件の議員提出議案について審議し、全議案を可決するとともに、1件の陳情を審議しました。

令和4年第2回7月臨時会日程

Table with 2 columns: 月日曜 (7/14 木) and 主な内容 (町長提出議案の説明、質疑、討論、採決)

令和4年第3回9月定例会日程

Table with 2 columns: 月日曜 and 主な内容. Includes dates from 8/31 to 9/22 with various agenda items like committee reports and resolutions.

7月臨時会

補正予算

事件議案

人事議案

条例議案

9月定例会

◎令和4年度愛川町一般会計補正予算(第4号)

(賛成全員) 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億6,093万1千円を追加し、一般会計の総額を139億3,214万9千円としたものです。

主な内容として、「地域経済振興券(第3弾)・コロナに負けるな!元氣券」の配布と併せ、「物価高騰等対策あいかわ元氣券」を一人あたり合計6千円分の商品券を配布した経費などです。

■訴訟上の和解及び損害賠償額の決定

(賛成全員) 事件名 横浜地方裁判所 令和3年(ワ)第49号損害賠償請求事件 賠償金額 2,000,000円

和解の主な要旨 本件に関し、相手方の安全に対する配慮が十分であったことを認め、今後、安全配慮に努めることを約束するものです。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

(賛成全員) 任期満了に伴い、引き続き選任することに同意したものです。 中津在住 大野 晋 氏

◎教育委員会委員の任命 (賛成全員) 前任委員の任期満了に伴い、新たに次の方を任命することに同意したものです。 町田市在住 齊郷 浩之 氏

◎愛川町印鑑条例の一部改正 (賛成全員)

全国のコンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機から、マイナンバーカードを使用して住民票や印鑑登録証明書等を取得できるサービスが開始されることから、証明書の申請及び受領ができるよう所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。 【施行期日】 令和4年10月3日

町民のみなさん 超ベリなマルチコピー機 住民票 印鑑証明 コンビニ交付 はじまります!! 2022/10/3(月)START 利用時間 6時30分~23時 土日でも取れる 役場に行く必要ナシ 愛川町 民生部住民課 住民票口票 電話:046-285-2111 町役場



詳細は町ホームページをご覧ください。

◎愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 (賛成全員) 「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、育児休業の

取得回数制限が緩和されるところにも、人事院規則が一部改正されたことから、非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和するなど、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日

令和4年10月1日】

補正予算

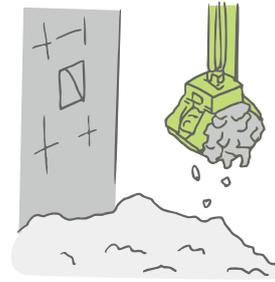
◎令和4年度愛川町一般会計補正予算(第5号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ7,652万5千円を追加し、一般会計の総額を140億867万4千円としたものです。

主な内容として、子宮頸がんの予防接種について、平成25年6月以降、国の方針により積極的な接種勧奨を控えていたことにより、接種機会を逃した方に対する接種助成のほか、美化プラントのピット内にあるごみを収集

車に積載するためのクレーンを修繕する経費などです。



◎令和4年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第1号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ42万1千円を追加し、介護保険特別会計の総額を33億6,442万1千円としたものです。

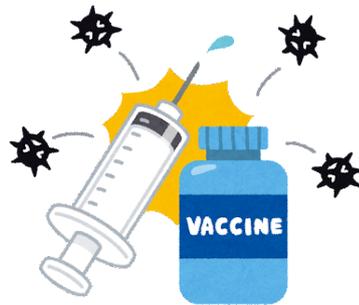
主な内容として、マイナンバー法に関連する介護保険の標準レイアウトが更新されることにより、本町の介護保険システムを改修する必要があるため、その必要経費を計上したものです。

◎令和4年度愛川町一般会計補正予算(第6号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、

歳入歳出それぞれ2億189万7千円を追加し、一般会計の総額を142億1,057万1千円としたものです。主な内容として、新型コロナウイルスワクチン接種事業において、オミクロン株対応の新たなワクチンを用いた集団接種や個別接種を実施するための費用です。



事件議案

◎町道路線の認定

(賛成全員)

新たに町道として管理する必要が生じた路線について、今回は中津地内の2路線及び半原地内の1路線を認定しました。

議員提出議案

個人総括質疑

◎国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出

(賛成多数)

すべての子どもたちが等しく義務教育を受けられるよう教育予算の確保と義務教育費国庫負担制度等の教育水準の維持・向上を図るため、国へ意見書を提出するものです。※可決した意見書の詳細は9ページに記載

4日目の9月6日は、補正予算議案に対し、茅孝之議員、山中正樹議員、玉利優議員、岸上敦子議員が質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

地域づくり活動促進事業補助金

■補助金の詳細について

児童福祉一般管理費増額

■増額の詳細について

介護保険特別会計一般管理経費増額

■システム改修の目的と効果について

債務負担行為補正

■補正の理由について

塵芥処理施設維持管理経費増額

■増額の理由について



平山大橋付近の工事の様子

条例議案及び令和3年度決算議案に対する

会派代表総括質疑

5日目の9月8日は、会派代表総括質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

日本共産党 愛川町議員団 (鈴木信一議員)

問 積立金現在高の評価について

町長 突発的な自然災害や社会情勢の変化による税収減への備えとして基金を積立。

令和3年度は、財政調整基金やいのちを守る基金など、一部を取り崩し各種の事業の財源として活用しました。一方で、余剰財源などを積極的に積み立てた結果、令和3年度末の基金現在高の総額は、27億853万2千円となり、令和2年度と比較すると、約7億1,421万3千円の増となっています。このうち、積立基金の使途は、突発的な自然災害や社会情勢の変化による税収減への備えとして、年度間の財源調整を担っています。また、近年激甚化している自然災害や不安定な世

界経済情勢を考慮すると、基金残高を増やすことができたことは、今後の弾力的な行財政運営の一助となるものと考えています。

(その他の質疑項目)

【衛生費に係る不用額の主な内容について】

ほか3問



あいかわの聲 (熊坂崇徳議員)

問 町税の決算額が令和2年度に続き減額となったが、今後の見通しについて

町長 法人町民税では、今後の景気動向がコロナ禍前の水準に回復した場合、順調に推移していくと予想。

令和3年度の町民税は73億7,005万2千円で、令和2年度と比較すると1億1,912万9千円の減となっています。今後の見通しとして、

町民税のうち個人町民税

については、雇用情勢や企業動向により、給与所得も変動することになるため、中長期的には、少子高齢化に伴う労働力の人口の減少等により、緩やかな減少傾向は避けられないものと考えています。

また、法人町民税については、今後の景気動向がコロナ禍前の水準に回復した場合、順調に推移していくものと考えますが、経済情勢によっては、

税収の増減幅が大きくなる年度もあると認識しています。

(その他の質疑項目)

【経常収支比率が前年度と比べ、下がった理由について】ほか4問

令和あいかわ (阿部隆之議員)

問 固定資産税の現年度課税分の収入額が予算現額より増となった理由について

町長 償却資産において、物流や製造といった一部の業種では、積極的な設備投資を行う企業も見られた。

土地については、長引く地価の下落傾向を考慮し、令和3年度においても宅地等の評価額の減額を見込み、予算計上したものです。しかしながら、地価の一部に下げ止まりが見られ、当初の見込みを上回ったことなどから、2,120万7千円の増額となったものです。また、償却資産については、コロナ禍で先行きが不透明な状況が続く中、多くの企業が積極的な設備投資を控えるものと見込んでいましたが、物流や製造といった一部の業

種では、積極的な設備投資を行う企業も見られたため、予算額に比べ約438万円の増額となったものです。

(その他の質疑項目)

【民生費決算額が前年度より大幅減となった主な理由について】ほか7問



あすかみらい (小島総一郎議員)

問 団体等への補助金10%を削減したことによる成果について

町長 補助金10%削減により財源確保。団体の運営努力で、大きな支障なく目的達成。



ほか8問

令和3年度の当初予算の編成に当たり、町税の大幅な減収が見込まれるなど、あらゆる財源の確保や事務事業の見直しに努めてきたところです。

こうした中、各種団体がコロナ禍において事業内容や運営方法を見直し、できる限りの事務事業執行に努められたものと考えています。

本町としても、長引くコロナ禍において、しかも不透明な社会経済情勢の中で、各種団体の運営には大変なご苦労があったかと思いますが、大きな支障もなく、それぞれの目的を達成されたものと認識しています。
 (その他の質疑項目)
 【介護保険特別会計…国庫支出金が増額となり、支払基金交付金が減となった理由について】

公明党
(井出一己議員)

問 国民健康保険税の不納欠損額が前年度より増となった主な理由について

町長 滞納者本人の死亡のほか、相続人全員が相続放棄をしているなど、やむを得ず即時に納税義務を消滅。

令和3年度の不納欠損額は、3,409万円余りで、令和2年度と比較すると623万円余りの増となっています。不納欠損については、公平性確保の観点から、財産がある場合には差押えによる時効の中断に努めるなど、安易に不納欠損とすることなく、徴収努力を続けてきたところです。

しかしながら、滞納者本人が既に死亡しており、相続人の全員が相続放棄をしているなど、納税義務を承継する相続人がいないケースがあります。



さらに、滞納処分ができる財産もなく、地方税法の規定により滞納処分停止を行い、5年の時効を待たずに、即時に納税義務を消滅させた理由などから、令和2年度よりも不納欠損額が増額となったものです。

いずれにしても、保険税は、国保制度の根幹をなす貴重な財産であることから、安定的な国保制度を維持していくためにも、不納欠損額や収入未済額の縮減に努めているところですが、今後とも、適切な徴収業務を徹底していきたいと考えています。

(その他の質疑項目)
 【新型コロナウイルス感染症対策による収入・支出額の増減について】

ほか5問

第6次愛川町総合計画議会検討会

町議会では、町が来年度の策定を予定している「第6次愛川町総合計画(案)」を調査するため、全議員により「議会検討会」を設置し、本年2月からこれまで全9回にわたる議論を重ね、7月には意見・提言書を町長に提出し、10月にはその回答に対する質疑を行いました。

【主な質疑内容】

- ①地区防災計画策定を表記する考えについて
- ②「こころの体温計」の利用者数など、健康状態に関する成果指標を追加しない理由について
- ③計画を策定するにあたり、町側と住民代表である議会との間で協議の場を設ける考えについて
- ④「質の高い行政サービス」を目指す基本的な考えについて
- ⑤「子どもの権利条約」に関する文言を追加する考えについて

今後は、議会基本条例に規定する特別委員会を設置して、最終的な審査を行う予定です。



議会検討会において町側に質疑をする議員

常任委員会での審査

令和3年度事業の決算審議をより詳細に行うため、各常任委員会で8月に現地調査を行いました。また、9月13日から16日までは、各事業に対する質疑及び事務事業評価を行いました。内容の一部を紹介します。



三増住宅で現地調査をする様子

総務建設常任委員会

8月9日に、中津浄水場の送水量計更新工事や半原水源跡地の既存建物解体工事など、8箇所の現地調査を実施しました。また、9月13日及び15日は各事業に対する質疑を行いました。

現地 8/9
町営三増住宅外壁・屋根改修工事

【評価】
おおむね良好かつ適正に執行している。

質疑9月13日

マーケティング推進事業費

問 「いいねっ愛川町毎月フォトコン II」開催経費の詳細について



答 町内で撮影した魅力的な写真を町内外の方にInstagramタグラムへ投稿していただき、優秀作品を活用することで、本町のPRを行う事業です。経費の詳細は、作品の応募や公開するための専用サイトの運営経費が52万8千円、毎月の最優秀作品応募者への賞品代が2万円となっています。

質疑9月15日

ごみ収集運搬処理経費

問 ごみ出し困難者戸別収集事業費の詳細について

自らごみ収集所にごみを出すことが困難な高齢者世帯等を対象に、在宅での生活が維持できるよう、見守りを兼ねて玄関先などに出されたごみを戸別に収集する「愛川町ふれあい戸別収集」に用いるごみ収集容器を購入する経費です。経費の詳細は、ごみ収集容器15基分の購入費として2万3,925円を支出したものです。

教育民生常任委員会

8月10日に、田代運動公園のテニスコート床面改修工事や旧半原小学校など、5箇所の現地調査を実施しました。また、9月14日及び16日は各事業に対する質疑を行いました。

現地 8/10
旧半原小学校「懐かしの学び舎」再現実業

【評価】
良好かつ適正に執行されている。



旧半原小学校で現地調査をする様子

質疑9月14日

子育て支援センター等運営事業費

問 子育て支援センターで実施した子育てサロンの主な相談内容と成果について

答 子育てサロンは、親子の遊びと交流の場のほか、育児に関する悩みごとの相談、情報提供の場として実施をしています。主な相談内容は、食事や睡眠、排泄などの基本的な生活習慣に関する相談が最も多くなっています。

質疑9月16日

給食管理経費

問 町内産の野菜・卵・豚肉等を活用した地産地消の詳細について

答 令和3年度から本格的に町内産の有機栽培野菜や豚肉を学校給食の食材として、積極的に活用するとともに、地場産食材を用いた給食献立の開発などについても注力するなど、様々な事業を展開することで、地産地消の推進に努めたものです。



討

論

各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。内容の一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言の事です。

賛成 日本共産党愛川町議員団 井上 博明 議員

後期高齢者医療特別会計を除き、他の全ての議案に賛成の立場から討論します。

【補助金交付により、初めて待機者ゼロを達成】

民生費では、幼保連携型認定こども園施設整備事業において、待機児童対策を推進するため、中津幼稚園に対し、整備費用等の補助金を交付しました。このことにより、愛川町では初めて待機児童ゼロを達成することができました。



今後とも待機児童が生まれないようにするとともに、保育内容の質の向上についても取り組んでい

ただきたいと思えます。

【介護保険の健全な財政運営。翌年度1,400万円の繰り越し】

介護保険特別会計では、団塊の世代が75歳となる2025年、さらに団塊のシニア世代の急増や現役世代の急減する2040年を見据えた中長期的な視点に立ち、令和3年度も健全な介護保険財政の運営に努めました。その結果、収入未済額、不用額の減少により、実質収支1,400万円余りの額を翌年度に繰り越しできたことは、大いに評価します。

とも努めていただきたいと思います。



賛成 あいかわの聲 玉利 優 議員

全議案に対し、賛成の立場から、意見・要望を交えて討論します。

【大型物流施設の企業誘致により増収を期待】

町税全体では、前年比に比べ1億1,912万円の減収となりました。

しかしながら、固定資産税については、圏央道の開通を契機として、大型物流施設が多数進出し、今後新たな参入企業により、建て替えや設備投資による資産価値の上昇に伴い増収が期待できま

す。また、近年では、就業人数も増加傾向にあるようです。これからの物流施設の誘致は歓迎すべきものと考えますので、今後ともこうした企業誘致の努力をお願いします。



物流施設の誘致に期待します

す。高ストレス者への対策を共有するとともに、教職員の離職防止などに活用されていることを評価します。

賛成 令和あいかわ 阿部 隆之 議員

全議案に対し賛成の立場から、提言を交えて討論します。

【コロナサポート窓口や食料支援で陽性者を厚くサポート】

新型コロナウイルスの感染拡大防止に関する事業では、愛川町ワクチン接種情報のチラシを全戸配布し、周知に努めた結果、65歳以上の方の3回目接種率が約9割を達成し、非常に高い数字を近隣自治体よりも早い段階で達成できたこと。また、ワクチン接種以外においても、町独自の支援策として、新型コロナウイルスサポート窓口の設置や自宅療養者に対する食料支援のほか、妊産婦を対象とした抗原検査キットを配布し

令和4年11月15日

たことを高く評価します。引き続き、4回目としてオミクロン株対応ワクチンが予定されている5回目接種の対応もよろしく願います。



シミュレーションを重ね、スムーズにワクチン接種を進めることができました。

右記の二次元コードを読み込むと音楽祭の動画がご覧になれます



デオ3作品をYouTubeで公開し、多くの再生回数を得ています。少しでもできることを前に進めようという姿勢は、大いに評価します。

賛成
あすかみらい
山中 正樹 議員

全議案に対し賛成の立場から討論します。

【印鑑証明書等のコンビニ交付始まる】

【若者たちの音楽祭等、イベント中止でも出来ることを見いだし文化振興に努める】

教育費では、数々のイベントが新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされた中、若者たちの音楽祭に関しては、文化会館での生演奏を聴くことはできませんでしたが、プロモーションビ

10月より全国のコンビニエンスストア等に設置されている端末機からマイナンバーカードを使用して、印鑑登録証明書等を取得できるように規定を追加するものです。町民の利便性向上に期待しま

【積立金現在高は前年度比7億円余りの増。老朽化した施設整備の財源に不足なし】

財政状況では、令和3年度もコロナ感染症蔓延の影響を引き続き受けた行政運営の1年間となりました。財政的には厳しい状況ではあるものの、積立金現在高は27億円余りで、前年度比7億円余りの増、突発的な災害や今後老朽化した公共施設

の長寿命化等の整備にあたっては財源に不足はなく、一方で地方債現在高

は順調に減少しており、概観で見ても大きな不安材料は見当たらない状況です。財政健全化法に基づき健全化判断比率等の状況を見ても、全く問題のない数値となっていま



持続可能な公共施設整備に期待します

賛成
公明党
岸上 敦子 議員

全議案に対し賛成の立場から討論します。

【交付金活用で景気盛り上げ券の配布。売上増で大きな経済効果あり】

新型コロナウイルス感染症対応に係る「地方創生臨時交付金」を活用し、原油価格、物価高騰などへ支援策が拡充されました。この交付金を活用した中でも「あいかわ景気盛り上げ券」第2弾では、総額1億1,098万9千円が町内の店舗で利用

から80歳以上に緩和したところ、令和2年度の申請者は108名でしたが、令和3年度の申請者は166名と増加しました。通院をはじめ買物等への外出支援と健康づくりの増進が図れたことを評価



アンケート結果では、多くの事業者から「売上げが増加し効果があった」といった回答のほか、町民からも「コロナ禍で生活の支援になった」といった声からこの取り組みを高く評価します。

母子保健事業では、妊婦が安心して出産に臨めるよう、また乳幼児の疾病異常の早期発見ができるよう各種の健康診査訪問事業が実施されました。今後も妊娠期から子育て期にわたるまで、育児に関する悩み等の対応や経済的な負担の軽減など、切れ目のない事業を展開を期待します。

【高齢者タクシー券の配布で外出支援と健康づくりの増進図る】

民生費では、高齢者タクシー助成事業の対象年齢に係る制限を85歳以上

令和3年度決算を認定

令和3年度 各会計決算額

会計		歳入	歳出
一般会計		155億3,821万6千円	147億7,429万4千円
特別会計	国民健康保険	49億4,659万2千円	49億2,663万2千円
	後期高齢者療 医	5億3,975万7千円	5億1,331万9千円
	介護保険	31億9,268万2千円	31億7,860万5千円
企業会計	公共下水道業	15億6,415万8千円	18億5,649万6千円
	水道事業	7億8,568万4千円	9億6,230万1千円
合計		265億6,708万9千円	262億1,164万7千円

- ◎ 一般会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
(以上、賛成全員)
- ◎ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
(賛成12人、反対3人)
- ◎ 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
- ◎ 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
(以上、賛成全員)

決算の詳細については、スマートフォンからでもご覧いただけますので、左記の2次元コードをご利用ください。(※広報あいかわのページに移動します)



国へ意見書を提出

国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書

- 1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償制度を継続すること。
- 2 ゆきとどいた教育を実現するために、小学校の35人以下学級を計画的に進め、中学校での35人以下学級を早急に策定すること。また30人以下学級の実現に向けて検討すること。
- 3 学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現し、教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、加配の配置増など教職員定数改善を推進すること。また、スクール・サポート・スタッフ、介助員等の専門スタッフ職の拡充、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。
- 4 子どもたちの心に寄り添うためのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月22日

内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣 殿



下記の2次元コードを読み込むと意見書の全文がご覧いただけます



令和4年 第2回7月臨時会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第53号	令和4年度愛川町一般会計補正予算（第4号）	可 決
町長提出 第54号	訴訟上の和解及び損害賠償額の決定について	可 決

令和4年 第3回9月定例会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第55号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
町長提出 第56号	教育委員会委員の任命について	同 意
町長提出 第57号	愛川町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第58号	愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第59号	令和3年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出 第60号	令和3年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出 第62号	令和3年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出 第63号	令和3年度愛川町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
町長提出 第64号	令和3年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
町長提出 第65号	令和4年度愛川町一般会計補正予算（第5号）	可 決
町長提出 第66号	令和4年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出 第67号	町道路線の認定について	可 決
町長提出 第68号	愛川町と厚木市との住民票の写しの相互交付事務の委託の廃止に係る協議について	可 決
町長提出 第69号	愛川町と清川村との住民票の写しの相互交付事務の委託の廃止に係る協議について	可 決
町長提出 第70号	令和4年度愛川町一般会計補正予算（第6号）	可 決
町長提出 第71号	工事請負契約の変更について（令和4年度平山下平線第1工区改良工事）	可 決

●意見が分かれた議案

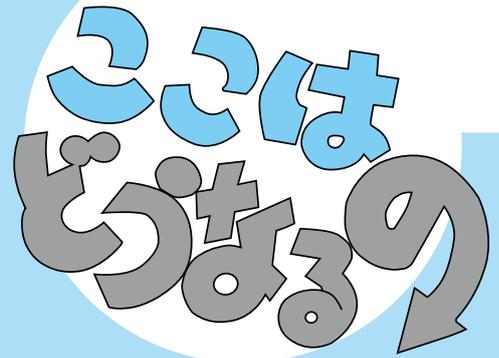
○…賛成、●…反対

議案番号	議員名 議案等の件名	公明党			日本共産党 愛川町議員団			あいかわの聲			令和 あいかわ			あすかみらい		無所属 佐藤 茂	議決結果
		井出 一己	佐藤 りえ	岸上 敦子	鈴木 信一	井上 博明	小林 敬子	熊坂 崇徳	渡辺 基	玉利 優	阿部 隆之	馬場 司	茅 孝之	山中 正樹	小島 総一郎		
町長提出 第61号	令和3年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
陳 情 第 6 号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	採 択
議員提出 第 2 号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可 決

●陳情（審査の結果机上配付となったもの）

受理番号	受理年月日	件名	陳情者
5	R4.6.6	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	兵庫県伊丹市北伊丹1-75 井田 敏美

一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。なお、9月定例会の会議録は、12月頃に完成予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でも、ご覧になれます。

茅 孝之 議員 P.11

・美味しい町水の利活用について ほか

井出 一己 議員 P.14

・越境樹木の管理について ほか

鈴木 信一 議員 P.12

・ハラスメント防止条例制定の考えについて ほか

阿部 隆之 議員 P.14

・行政と自治会との共生について

井上 博明 議員 P.12

・盛土規制法について ほか

小林 敬子 議員 P.15

・臭気対策について

山中 正樹 議員 P.13

・幼児教育について ほか

玉利 優 議員 P.15

・「誰一人取り残さないまち」の取り組みについて

岸上 敦子 議員 P.13

・障がい者支援について ほか

熊坂 崇徳 議員 P.16

・子育て支援策について ほか

**採算を取る事が難
安全供給に努める**
町長 全国各地の名水が販売されているため市場競争が激しく、また施設の改修が必要になるなど、採算を取ることが難しいことから、引き続き安全な水道水を第一に考え、供給に努めていきます。

問 本町の水を神奈川県川工科大学と調査した結果、健康長寿が期待されるシリカが含まれていました。そこで、本町の水を特産物として販売することで、シティセールスに繋がると思いますが、町の考えについて伺います。

シリカ*水を使った
シティセールス



かや 茅 孝之 議員



※シリカとは：肌や爪をきれいに保ち、骨を丈夫にするなどの効果があるとされている。



スーパーなどで見かける給水スタンド

水道事業所長 水道水の普及啓発を目指し、無償

設置には慎重 情報収集に努める

【その他の質問項目】
新しいブランド力の開発・発信について

問 ペットボトルではなく、スーパーなどにある給水スタンドを役場や公民館に設置すれば、少ない初期投資で、多くの町民や県水を利用する方もシリカ水を飲むことが出来ます。そこで、給水スタンドを設置する町の考えについて伺います。

水道水を給水できる給水スタンドを駅前などに設置している自治体があります。しかしながら、その費用対効果を検証することは難しく、本町における設置は慎重にならざるを得ない状況です。一方で、水道の普及啓発は重要であると捉えており、本町の水の有効なPR方法がないか、情報収集に努めていきます。

給水スタンドの設置



鈴木 信一 議員

ハラスメント防止 条例制定の考えは



問 ハラスメントは、身体的・精神的に追い詰めることにより、様々な形態で人を傷つけ、うつ病や退職に追い込む場合があります。そこで、本町においてハラスメント条例を早急に制定する考えを伺います。

意識の醸成を図る 良好な職場環境に

町長 条例を制定するよりも研修を重ね、意識の醸成を図ることが先決です。職員同士が信頼し合える良好な職場環境づくりに努めていきたいと考えています。

「第三次愛川町一般廃棄物処理基本計画」 現状と課題

問 本町では、令和2年3月に策定した「第三次愛川町一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの減量化やリサイクル率向上等の数値目標を掲げ、循環型社会形成の推進に努めています。このような取り組みを推進するためには、住民の理解と協力が必要不可欠です。そこで、ごみ処理の現状と課題について伺います。

リサイクル率が減少 町民の理解と協力を

町長 一般廃棄物総排出量の実績は、昨年度より493トン減少して1万2,675トンとなり、目標を達成しました。一方、リサイクル率は目標に達しなかったことから、改めてごみの減量化、資源化を周知し、町民一人ひとりの理解を深め、協力を促すことが課題であると考えています。



町内のごみ収集の様子

倒壊の危険な 空き家対応は



井上 博明 議員

問 管理されていない空き家は、近隣住民への被害も発生している状況です。そこで、倒壊しそうな危険な空き家への対応について伺います。

所有者へ適正管理 解体費の補助活用

町長 危険な空き家となった際の対応は、所有者へ通知を行い、その後改善が見られない場合は、直接訪問をして適正管理を促しています。また、本年度から「危険空き家等解体費の補助金制度」を新たに創設し、危険空き家の解消に努めています。



令和2年度中の調査では308件の空き家を把握し、空き家バンクへの登録を促しています。

「盛土規制法」 津久井農場計画の適用範囲は

問 盛土規制法が先般の国会で成立しましたが、盛土規制法による津久井農場計画への適用範囲と今後の町の対応について伺います。

基礎調査を把握 県に対し意見する

町長 津久井農場計画地の下流域にあたる桜沢は、県が指定する土石流の特別警戒区域となっており、盛土による土石災害のおそれのある区域については、盛土規制法

による規制区域の指定を検討する必要があります。したがって、県知事に対して、本町の実情を理解していただき、盛土工事への指導強化などを強く要請していきたいと考えています。

今後も相模原市と情報共有しながら、県が行う工事規制区域の指定のために必要となる、基礎調査の実施状況を把握するなど、県に対して必要な意見をしっかりと申し入れていきたいと考えています。

町長 幼児が日々過ごす環境での教育は重要であり、高齢者とジャガイモ掘りなどで交流を図ることにより、豊かな心を育てています。幼児教育は人格形成の基礎を培う意義があるため、子ども達が未来を切り拓けるよう充実を図っていきます。

**日々過ごす環境重要
人格形成の意義あり**

問 本春、1園が廃園し、1園が認定こども園に移行されたことで、町内の純粋な幼稚園は1園となりました。初等教育の前教育は、子どもへの基礎です。そこで、幼児教育についての考えを伺います。

**幼稚園が1園減少
幼児教育の大切さ**



やまなか
山中
まさ
正樹 議員



※認定こども園とは：修学前の教育、保育を一体的に受けられる、幼稚園と保育所の良さを持っている施設。



**県平均大きく上回る
栄養教諭指導を向上**

教育長 地場産物の使用割合は、令和2年度が

19.8%だったものに対し、令和3年度は25.6%と増加となり、県内市町村平均の17.6%を大きく上回っています。

教育総務課長 栄養教諭が在籍している中津第二小学校において、令和4年の月平均指導回数は7回程度です。(4月～7月)健康推進課長 「第4次食育推進基本計画」の取り組み目標に向けての方策は、「愛川町健康プラン《第4期》」に目標値を明記する方向で検討します。

問 穀物を中心に必需品が高騰しており、自給自足に真剣に取り組み段階にきています。そこで、学校給食における地場産物の活用割合と栄養教諭による指導回数について、また、農林水産省の「第4次食育推進基本計画」の取り組み目標に向けての方策について伺います。

学校給食での地場産物の活用

19.8%だったものに対し、令和3年度は25.6%と増加となり、県内市町村平均の17.6%を大きく上回っています。

教育総務課長 栄養教諭が在籍している中津第二小学校において、令和4年の月平均指導回数は7回程度です。(4月～7月)健康推進課長 「第4次食育推進基本計画」の取り組み目標に向けての方策は、「愛川町健康プラン《第4期》」に目標値を明記する方向で検討します。

**利便性向上に役立つ
積極的な周知を図る**

町長 デジタル障害者手帳などの新たな支援ツールが使用可能となったことは、手帳所持者の利便性向上に役立つものと捉えています。ミライロIDなどの有用なサービス情報は、様々な機会です積極的に周知を図っていきたくと考えています。

問 障がい者の外出・社会参加支援ツール「デジタル障害者手帳(ミライロID)」の認識と周知に向けた取り組みについて伺います。

**[デジタル障害者手帳(ミライロID)]
外出及び社会参加
認識と周知の取組**



きしがみ
岸上
あつこ
敦子 議員



町長 40歳未満の方は介護保険の対象外となるため、自己負担が高額となる場合があります。県内の自治体では、横浜市・大和市・鎌倉市が助成制度を導入しており、神奈

**実績や効果など検証
支援の在り方を研究**

問 15歳から39歳までのAYA世代のがん患者支援として、終末期の在宅療養費の助成をする考えについて伺います。

がん終末期の在宅療養費助成

川県では本年度より助成制度を実施している市町村に対し、事業費の3分の1を補助する制度が開始されたところです。

本町では、これらの先行自治体の今後の実績や効果などを検証し、県の情報収集に努めるなど、AYA世代のがん患者で終末期を在宅で過ごされたい方やその家族に対する支援の在り方について、研究していきたく考えています。



障害者手帳を、あなたのスマホへ。

MIRAIRO ID



←デジタル障害者手帳の情報はこちら

※AYA世代とは：思春期・若年成人のことをいい、15歳から39歳までの人たちのこと。

越境樹木の管理法改正で切除可能



い井出 かずみ 議員



問 令和3年に民法が改正され、一定の要件を満たした場合、土地所有者は越境した樹木の切除が可能になります。今後、越境樹木管理の課題解決に向けた本町の取り組みについて伺います。

情報提供と窓口相談 課題解決へ取り組む

町長 引続き当事者間の話し合いによる解決が原則であることを前提に、相互理解による問題解決を促します。また、令和5年4月からの法施行を踏まえ、情報提供を行うとともに、窓口の相談対応でも具体的な対処方法

提案するなど課題解決に努めていきます。



道路に越境している樹木の様子

通学路交通安全プログラム

問 このプログラムは「継続的に通学路の安全を確保するため、関係機関により合同会議を行い、対策を講じる」とあります。そこで、安全対策の実施状況とその効果について伺います。また、通学路が含まれることも多い、生活道路の安全対策に「ゾーン30」を整備する考えについて伺います。

市の事故を受け、通学路の危険箇所の調査を前倒して、8月に合同点検を実施しました。9月にも協議会による合同点検を行い18箇所の危険箇所を確認し、区画線の補修やカラー舗装工事など各種の措置を実施しました。

危険箇所の確認補修 安全対策に継続取組

町長 昨年は千葉県八街

自治会のICT化 未来志向への支援



あべ たかゆき 議員



問 自治会サービスレベルの向上や若年層世帯の加入促進のためには、自治会のICT化が期待されます。しかし、ICTの導入は、自治会単独での情報収集や実践は非常に困難です。そこで、未来志向の自治会の在り方、研究等に対する支援の考えについて伺います。

また、生活道路の「ゾーン30」の指定は、相談が寄せられた時点で厚木警察署と指定区域への影響など様々な角度から検証し、ほかの安全確保策も含め、協議をする必要があると考えています。

情報収集と提供 効果的な支援策

行政推進課長 区長会議において各行政区の先進的な取り組みに関する情報共有を行うことはもとより、町職員が参加している県内市町村の自治会

支援に関する担当者ワーキング等も活用して、地域活動のデジタル化といった先進事例に係る情報の収集及び提供に努めています。

行政と自治会の共生が重要

問 持続性のある地域づくりを考えた場合、行政との共生が大変重要と考えますが、本町の考えを伺います。

地域の絆強めること 区長会と共に取組む

町長 有事の時こそ、地域のコミュニティを高め、

また、区長会とも連携しながら、効果的な支援策を講じていきたいと考えています。

絆を強めていくことが大切であると考えますので、地域づくり活動交付金などの有効活用、また配布物や回覧物を隔月とするなどの負担軽減を図りながら、今後も時勢に沿った自治会活動の在り方について、区長会と一緒に取り組んでいきます。



農政課長 養豚業者からは「飼育施設の床に敷かれた剪定枝のチップが、ふん尿により腐敗している事に気づかず、臭気が発生した。」また、養鶏業者からは「堆肥製造処理工程で鶏ふんの水分量が多い場合、良好な醗酵が進まず、臭気が発生した。」との報告を受けています。

問 住民の臭気の訴えに対し、町では畜産業者に原因究明や必要な対策を講じるよう指導してきたようですが、事業者からの回答について伺います。

答 剪定枝チップ腐敗 良好な醗酵進まず



三増地区における畜産状況

事業名	飼育数(概算)
養鶏事業	63万羽
養豚事業	6千600頭
酪農事業	50頭

事業者に対し指導 良好な生活環境保全

町長 本町では、独自の取り組みとして、微生物消臭剤の購入費助成をするなど臭気の抑制に努めてきた結果、以前と比べ、臭気の軽減が図られてきました。

しかしながら、季節の変わり目や風向きによっては臭気が漂うことがあります。臭気が発生した場合には直ちに発生源を確認し、事業者に対し原因究明や必要な対策を講じるよう指導しています。今後、養鶏事業者では既存堆肥舎の改修に取り組みとともに、鶏ふんを早期に醗酵させるロータリー式醗酵・乾燥機が導入されますので、本町としても引き続き、臭気対策に取り組み、良好な生活環境の保全に努めていきます。

住民の臭気の訴え 事業者からの回答



こばやし けいこ 議員



臭気対策今後の課題と取組

問 三増区の臭気問題は、大幅に軽減されたとはいえ、今もなお近隣住民の悩みは続いています。そこで、今後の課題と取り組みについて伺います。

三増区の臭気問題は、大幅に軽減されたとはいえ、今もなお近隣住民の悩みは続いています。そこで、今後の課題と取り組みについて伺います。

共生社会の実現 性的少数者へ配慮



たまり まさる 議員



問 LGBTQ（性的少数者）の声を聞き、共生社会の実現に向けたまちづくりが理想的であると考えます。そこで、性的少数者に配慮した申請書の性別の記載や、トイレの使い分けについて町の考えを伺います。

性別記載を確認検討 多目的トイレで配慮

町長 自らの性別に違和感を持つ性的少数者の方の中には、申請書など性別記載への抵抗感や悩みを感じる方もいると伺っています。そこで、本町が使う申請書などの各種の様式においては、法令上の根拠または業務上の

必要がある場合を除き、性別記載欄の取り扱いについて、確認作業を行い、研究を進めているところです。また、トイレの使い分けについては、町の施設内に整備している多目的トイレに「どなたでもご自由にお使いください」といった表示を行い、性別や障がいの有無に関わりなく利用できるような配慮に努めています。

小中学校の不登校対応策

問 不登校の児童生徒が増えています。が、小中学校における対応策について伺います。

個別支援と対応検討 相談体制の充実を図る

教育長 不安や悩みを相談できず一人で抱え込んでいたりする可能性がある児童・生徒が気軽に相談できるよう、相談体制の充実を図るとともに、周囲の大人が子供たちのSOSを受け止め、組織的な支援をすることが大切であると考えています。また、各小・中学校に配置された教育相談コーナーを中心に、個別の支援と対応策を検討するほか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどと連携を図りながら、組織的にきめ細やかな対応を行っています。



多目的トイレの案内表示

「コロナ感染拡大防止対策」
課外授業や部活動
マスク着用の考え



くまさか 熊坂 たかのり 議員



問 現在、学校生活においてはマスクの着用が義務付けられています。しかし、体育・課外授業・部活動などでマスクを着用していると、熱中症などにより生命の危険にさらされる事案も発生しています。そこで、学校生活におけるマスク着用の考えを伺います。

**文科省考え明確化
熱中症対策を優先**

教育長 本年5月24日に、マスク着用の考えを文部科学省が明確化したことを受け、小中学校長に対し、十分な身体的距離が確保できる場合や、気温・

湿度・暑さ指数が高い日、今後においても、感染
体育の授業等のほか、熱
中症リスクが高い夏場に
おいても、登下校時にマ
スクを外すなど、熱中症
対策を優先するよう周知
してきました。

状況を踏まえ、子供たちの健やかな学びが保障されるよう教育活動を進めていきたいと考えています。

子育て支援今後の重要施策

問 町長は、妊婦期から子育てまで切れ目のない支援の充実を掲げ、本町独自の様々な施策や事業を実施しています。そこで、子育て支援のさらなる充実に向けた、今後の重要施策について伺います。

**様々なサポート
環境整備に努める**

町長 小児医療費助成をはじめ、子育て世代の経済的負担の軽減に努めています。本年度は、三歳髪置き祝金の支給や、ベビーシッターに関わる費用の一部助成を新たに開始しました。今後も様々な角度から子育てをサポートするなど、安心して子育てができる環境整備に努めていきます。



子育てに関する町ホームページの情報



第25回 議会クイズ

- 問1** マイナンバーカードで新たに住民票や印鑑登録証明等が取得できるようになった場所はどこでしょうか？
 ①コンビニエンスストア ②ファーストフード店 ③児童館
- 問2** 令和3年度決算の一般会計・特別会計・企業会計に関する歳入合計はいくらでしょうか？
 ①26億5,670万8千円 ②265億6,708万9千円 ③2,656億7,089万円
- 問3** 一般質問のページにある各議員写真横の2次元コードを読み込むと、直接何が見られますか？
 ①愛川町のホームページ ②愛川町議会のホームページ ③本会議での質問動画

クイズの答えはこの議会だよりのどこかにあります。正解者の中から抽選で3名の方に商品券をお贈りします♪たくさんのご応募をお待ちしています！



《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号、議会だよりの感想（表紙や紙面の見やすさなど）を必ずご記入のうえ下記のいずれかの方法でご応募ください。

《しめきり》 11月30日（水）（郵送の場合は当日消印有効） ☆正解と当選者は次号で発表します。

- 《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局
- ファクスの場合 046-286-5021
- 電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
- オンラインでの場合 右記の2次元コードを読み取ってください。



第9回町民との意見交換会における意見・要望等と町からの回答

紙面の都合ですべてのご意見を紹介できませんが、このほかにもご意見に対する町からの回答がありました。なお、町からの回答(全文)については、ホームページに掲載しています。



議会
ホームページ

意見、要望等要旨

高齢者の外出支援事業において、現状の制度では、各種助成が重ねて受けられないことになっていることから、制度を充実させるためにも、複数の助成が重ねて受けられるように検討すること。

町職員の中途退職者が増えている状況がこのまま続くと、円滑な業務の遂行が行えなくなり、結果的に住民サービスの低下に結びついてしまうと考えられることから、実態把握とそれに対する対策について検討すること。

一時預かり事業の対象児童をゼロ歳児からに拡大すること。

スクールカウンセラー及びソーシャルワーカーを増員すること。

町からの回答

本町で実施している高齢者外出支援4事業(①「かなちゃん手形」の一部助成、②タクシー助成、③運転免許返納に伴う「かなちゃん手形」全額助成、④電動アシスト三輪車購入一部助成)については、高齢者の社会参加や生きがいの増進に資するためのものでありますが、限られた予算の中で、できる限り多くの方に助成が行き渡るように実施しており、重複して助成の対象とすることは考えていません。

早期退職の理由としては、民間企業や他自治体への転職をはじめ、本人の健康上の理由などが主なものであり、価値観の変化に伴い、退職理由も多様化しているものと認識しています。
こうした状況の中、行政の停滞等を招かないよう、各部署における業務量の変化等を適確に把握するとともに、民間委託の推進をはじめ、再任用職員や会計年度任用職員の雇用のほか、必要に応じて年度途中の採用を行うなど、適切な職員数の確保と人員配置に引き続き努めていきます。
また、全ての職員が住民福祉の向上を責務とする公務員としての高い貢献意欲を持ちながら生き生きと働けるよう、時間外勤務の縮減、人材育成など、職場環境の整備にも取り組んでいきたいと考えています。

町立保育園2園と認定こども園1園で、受け入れ年齢と利用料金ともに同じ条件で実施しています。ゼロ歳児からへの拡大については、現在の保育体制で安全にお預かりするため、満1歳以上かつ離乳食が完了しているお子さんからとしていることから、現行の体制で実施していますが、今後の利用状況や保育ニーズなどを踏まえながら、研究していききたいと考えています。

全学校に配置しているスクールカウンセラー及びソーシャルワーカーは、相談件数も多く、相談内容も福祉的な要素の事案に及ぶなど、ますます多岐に渡ってきていることから、さらなるきめ細やかな対応に向け、増員や配置日数増について、県への働きかけを含め、検討していききたいと考えています。

第24回議会クイズの 答えと当選者

前号の議会クイズの
正解と当選者は次の
とおりです。

〈正解〉

問1・①2,172円5千円

問2・③表決

問3・②20名

〈当選者〉

黒川 陽一 様

佐々木 麻里子 様

伊藤 由紀子 様
以上3名

次回定例会の お知らせ

次回、第4回定例会の日程は左表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は11月22日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

令和4年第4回12月定例会日程(予定)

月	火	水	木	金	土	日
			1 本会議 (提出議案の 説明)	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会		
12	13	14 本会議 (総括・討論・ 採決)	15	16	17	18

あいかわほっこり写真館

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、年の瀬の足音がだんだんと近づいてきました。今号でも、担当する委員一人ひとりが愛川町の魅力を伝えるため、写真を撮影してきました。それぞれの写真を見て、こころが「ほっこり」していただければ幸いです。



小沢城址 往古を偲ぶ城坂



坂を下れば「八菅橋河川敷」
中津川も最高！



ぼくは、ブランコが
一番だい♡す♡き



あいちゃんも感染対策
(町役場1階)



野山に咲く「ムクゲ」の花



裏山で見つけた淡い紫色の花
「サマームスカリ」

◎議会クイズは16ページに掲載しています。

広報広聴常任委員会
 委員長 岸上 敦子
 副委員長 茅 孝之
 委員 玉利 隆之
 委員 阿部 徳之
 委員 熊坂 敬子
 委員 小林 一己
 委員 井出 正樹
 委員 山中 一郎
 委員 小島 博明
 委員 井上 博明

9月定例会では、令和3年度一般会計決算の認定や補正予算などが上程され、会派代表質疑や常任委員会の決算質疑の場でも活発な議論が交わされました。本号では、その他にも各常任委員会の現地調査の様子や、10名の議員による一般質問のほか、意見交換会における町からの回答なども掲載しています。

今後も、分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、この議会だよりが議会活動などの様子を知らせていただくための一助となればありがたいです。

編集後記